

【スローガン】

ともにつながり、よりよく伸びようとする子どもを育成します
～学び愛（合い）、思い愛（合い）、認め愛（合い）～

【教育目標】

し：真剣に学ぶ子（知）
お：思いやりのある子（徳）
か：体も心も強い子（体）

一粒万倍・凡事徹底

※働き方改革

※基本的生活習慣の育成

【学校経営の方針】 ※全教職員の経営参画と協力体制

(1) 知徳体の調和のとれた豊かな人間性と実践力のある子ども(全職員で)

↓ 〈教職員の責任と使命感、子どもに寄り添った教育、新学習指導要領の趣旨の理解〉
安全で安心な学校（感染症・交通事故・不審者・地震・放射線等）

〈危機管理意識を持って取り組む〉

子どもたちが毎日「学校に行くのが楽しい」

〈家庭や地域との連携〉…主体的な学習を支える基盤づくり

① しっかりとした学力を身につけさせる（知の部分）

○授業を一番に考える（考える場を確保・体験から学びへ等）

・「主体的め対話的で深い学び」の実現を目指す授業づくり「授業は、瞬間判断の連続」

○その学年で身につけなければならないことは、その学年のうちに

② 心の教育を大切にしたい（徳の部分）

道徳科の授業を要として、教育活動全体を通して

自己有用感・自己肯定感の持てる子どもに

潤いのある環境づくり（言語環境・緑化・音楽・掲示・整理整頓）

③ 今だからこそ健康教育（体の部分）

不安からくるストレス・体力の低下等（運動の日常化）

肥満傾向の児童の増加(学校課題)

基本的生活習慣の確立(学校課題)

(2) 生徒指導のさらなる充実

① 事故防止を図るために最大限の努力をする

未然と已然＝起こさなために・起きてしまったら…

報告・連絡・相談

② 問題行動等への対応

迅速な対応（複数で）→教育（今日行く）

いじめの問題（いじめ見逃しゼロ）

小名浜一小スタンダード（あいさつ・へんじ・ことばづかい・困ったときには助けを求める）

③ 通信機器(スマホ・ゲーム機・動画視聴)等によるトラブルや生活の乱れ

「持たせるなら・使わせるなら」親の責任で…！ → 家庭でのルール作りの徹底

(3) 特別支援教育の充実

① 全教職員による校内支援体制の充実→教員間での共通理解

ユニバーサルデザインの視点を生かした環境設定・指導の工夫

② 地域におけるインクルーシブ教育システムの推進

「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成・活用そして見直し

(4) 服務規律の徹底(不祥事防止六つの約束)…裏面

(5) その他

① 教師としての在り方（私が思うこと）

・子どもたちから元気とやる気をもらおう。（子どもがいるときにしかできないことを最優先）

・教育者としての個性を発揮する。（まず自分らしさを…）

・しない後悔より、して後悔。（失敗から学ぶ）

・悩んでも解決できないことで、悩まない。（相談する。背負わない）

・社会人としての自覚（教師や公務員に対する見る目は厳しい）

② 判断の基準は2つ

・今の子ども達にとってどうなのか？やがて大人になる子ども達にとってどうなのか？

過去と他人は変えられない。未来と自分を変えられる。